

関係各位

2009年10月24日  
職業感染制御研究会 代表 小池和彦

## 電子カルテあるいは院内 LAN を用いたエピネット日本版報告システム構築の推奨について

平素医療従事者の職業感染制御につきまして深い理解とご支援を戴き感謝申し上げます。

職業感染制御研究会（代表 東京大学教授 小池和彦）では、職業感染制御に関する様々な研究や講演会活動を行っております。当会では、“エピネット日本版(Japan EPINet)”を作成しこの使用に関する一切の権限をバージニア大学のジェニー・シェーガ教授ならびに日米のベクトンディッキンソン社から承認いただいております。現在ホームページ(<http://jrgoicp.umin.ac.jp/>)を介してユーザー登録をしていただいた医療機関に対して、“エピネット日本版”ならびに集計・解析用のソフトウェアである“エピシス(Episys)”の無償配布を行っております。また、職業感染制御研究会では、針刺し・切創、体液・血液曝露による職業感染を防止するために、全国の医療機関に働きかけをエピネット日本版形式で集計したデータをもとに実態調査を行い公表しております。現在は郵送による全国サーベイランスを行っておりますが、当研究会ではさらに高い水準の情報収集を行うために、Web ベース（インターネット経由）でのデータ集計を予定しております。

### ○各医療機関における職業感染に関わる管理者の方々へ

このたび当会では、我が国における医療環境での針刺し・切創、体液・血液曝露の状況を精度高く経時的に把握するための方策として、各医療機関において電子カルテや院内 LAN を利用した電子的なエピネット報告システムの構築ならびに導入を推奨することいたしました（自施設に導入いただくシステムに関して当研究会からの紹介や推奨メーカー[ベンダー]に関する情報提供の予定はありません）。

### ○ベンダーの方々へ

システム開発や販売を希望するメーカー（ベンダー）においては、“エピネット日本版”および“エピシス”自体に対する著作権を主張しないことを条件に、エピシスフォーマットのデータ生成やエピシスへの取り込みツールの開発を許可することとします。尚、当研究会からのエピシスのソース・コードの公開の予定はありません。

※集計用紙であるエピネット日本版ならびに入力&解析ソフトウェアであるエピシス、エピシス・データフォーマットの一切の著作権は職業感染制御研究会に帰属します。

### 【免責事項】

- ① 電子カルテ上に構築したエピネット日本版の届け出システム、エピシスへの取り込みツール等の開発・導入にあたっては、当研究会からは一切の資金ならびに技術的な支援はいたしません（システムエンジニアリング的なお問い合わせに関しましても対応の予定はありません）。
- ② エピネット日本版、エピシスは予期なく仕様変更を行う場合があります。これに伴う一切の瑕疵について職業感染制御研究会は責任を負いません。

以上

本件に関するお問い合わせ先：

東京大学医学部感染制御学教室内 職業感染制御研究会

〒113-8655

所在地：東京都文京区本郷 7-3-1

Fax：03-5800-8796

shokugyoukansen-soc@umin.ac.jp